

みんなで作ろう！

セーフコミュニティちちぶ

秩父市の概要



報告者 秩父市危機管理課 磯田欣央



## 概要② 観光1

観光：年間約580万人の観光客が来訪

芝桜の丘(春)、龍勢祭り(秋)、秩父夜祭(冬)、札所34観音、サイクリング、登山、最近では、アニメの舞台やテレビCMで宣伝



# 概要② 観光2

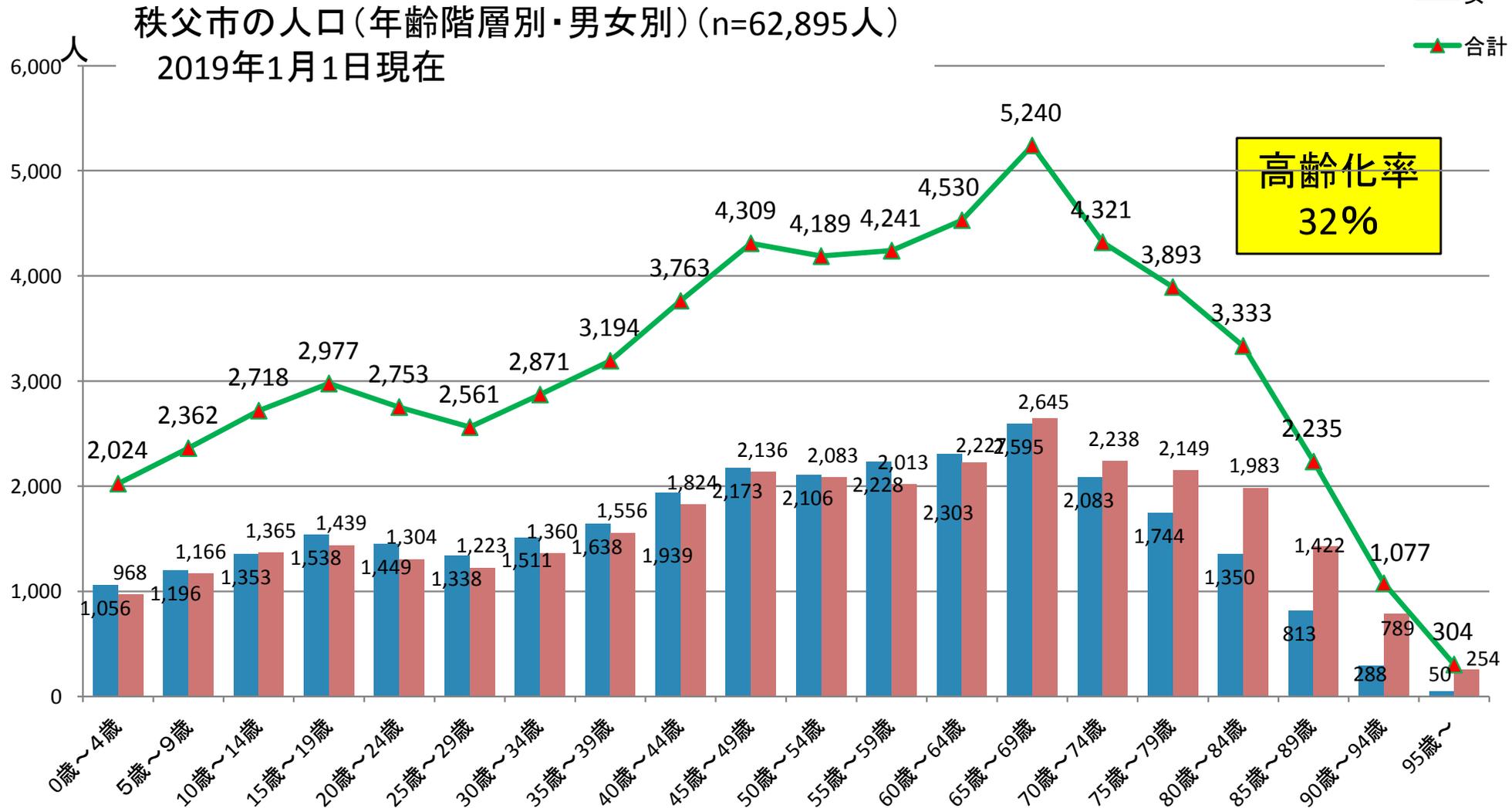




## 概要③ 人口構成

図表1

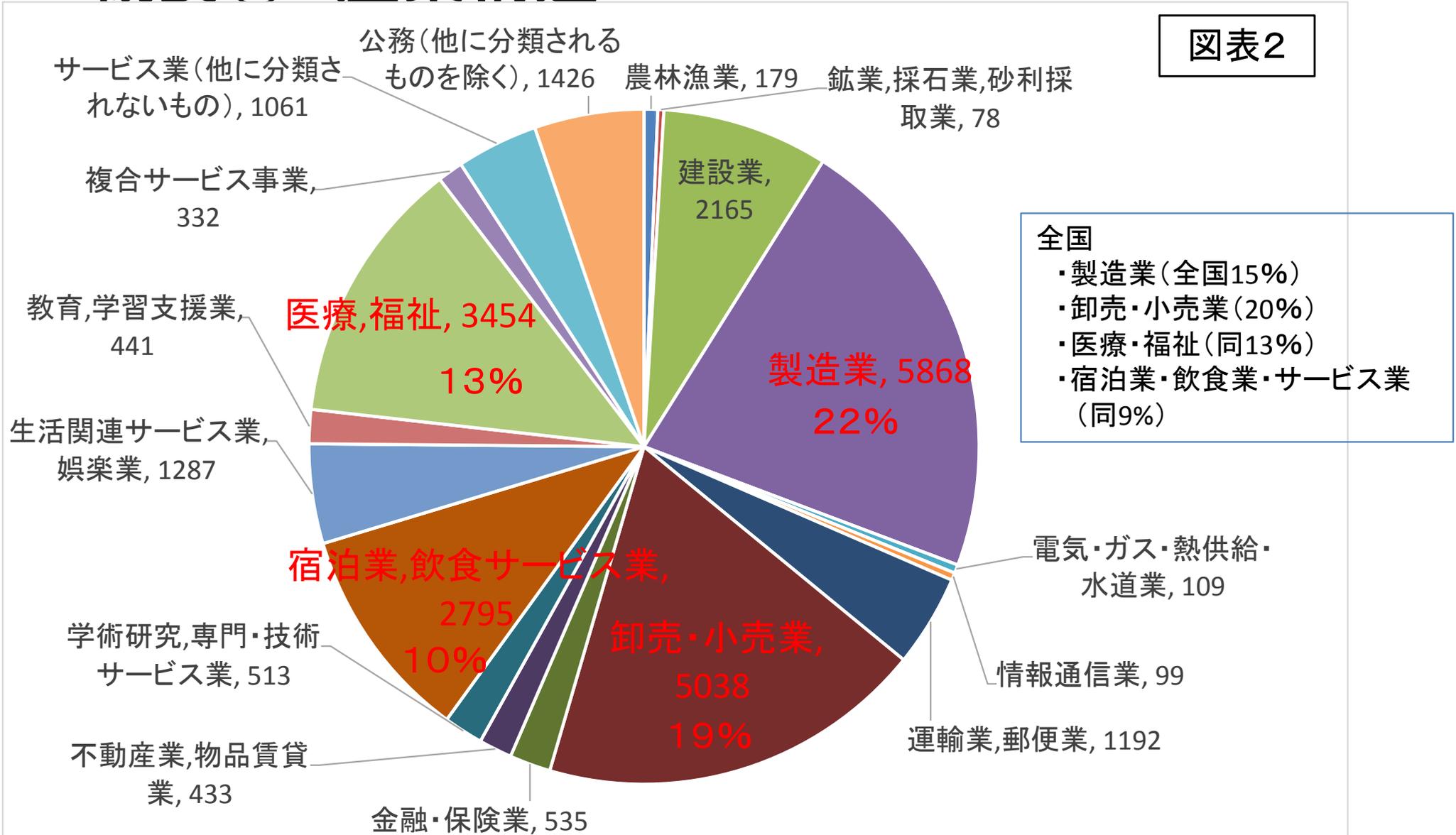
人口は、65歳～69歳が最も多く、若い世代ほど少ない。





## 概要④ 産業構造

図表2



# 概要⑤ 医療機関・学校等の状況

図表3

出典：埼玉県保健統計年報・医療機関事務処理状況報告（2019年7月1日現在）

種 別		施設数	病床数
病 院	一般病院	5 施設	4 4 9 床
一般診療所		6 1 施設	3 6 床
歯科診療所		3 3 施設	—

図表4

出典：秩父市（2019年5月1日現在）

種 別	園/校数	児童/生徒数	備 考
保 育 園	5 園	367人	公立のみ
幼 稚 園	4 園	101人	公立3園、私立1園
認定こども園	5 園	721人	私立のみ
小 学 校	13校	2,891人	公立のみ
中 学 校	8校	1,598人	公立のみ
高等学校	2校	1,487人	公立のみ
特別支援学校	2校	137人	公立1校、私立1校
職業訓練校	1校	28人	県立のみ
専門学校	1校	86人	私立のみ



# 概要⑥ 定住意思が高い

- ・「今後もずっと住み続けたい」、「当分住み続けたい」と思っている市民が約80%。
- ・持ち家比率87.7%、居住年数20年以上83.6%  
(2013年安心・安全なまちづくりアンケート)

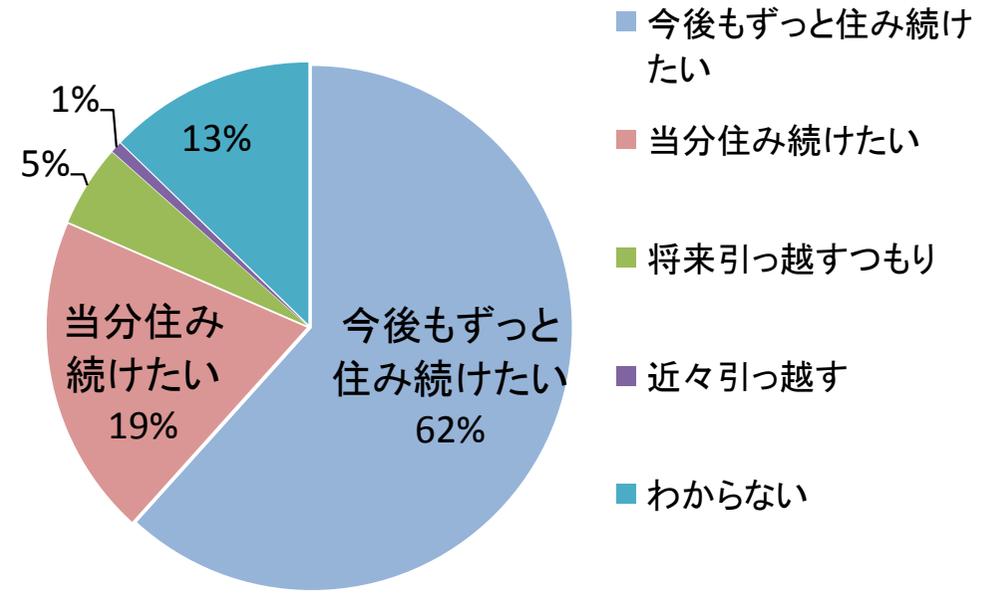
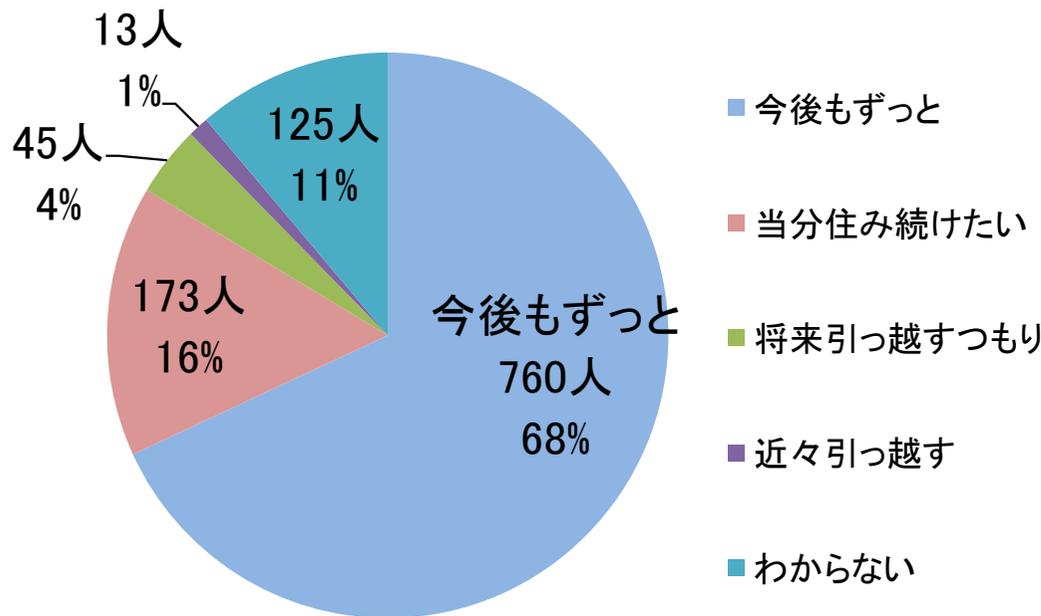
取組み開始前

認証取得後

図表5

定住意思 (n=1,116)

定住意思 (n=993人)



出典：秩父市市民満足度調査(2011年)

出典：秩父市市民満足度調査(2016年)

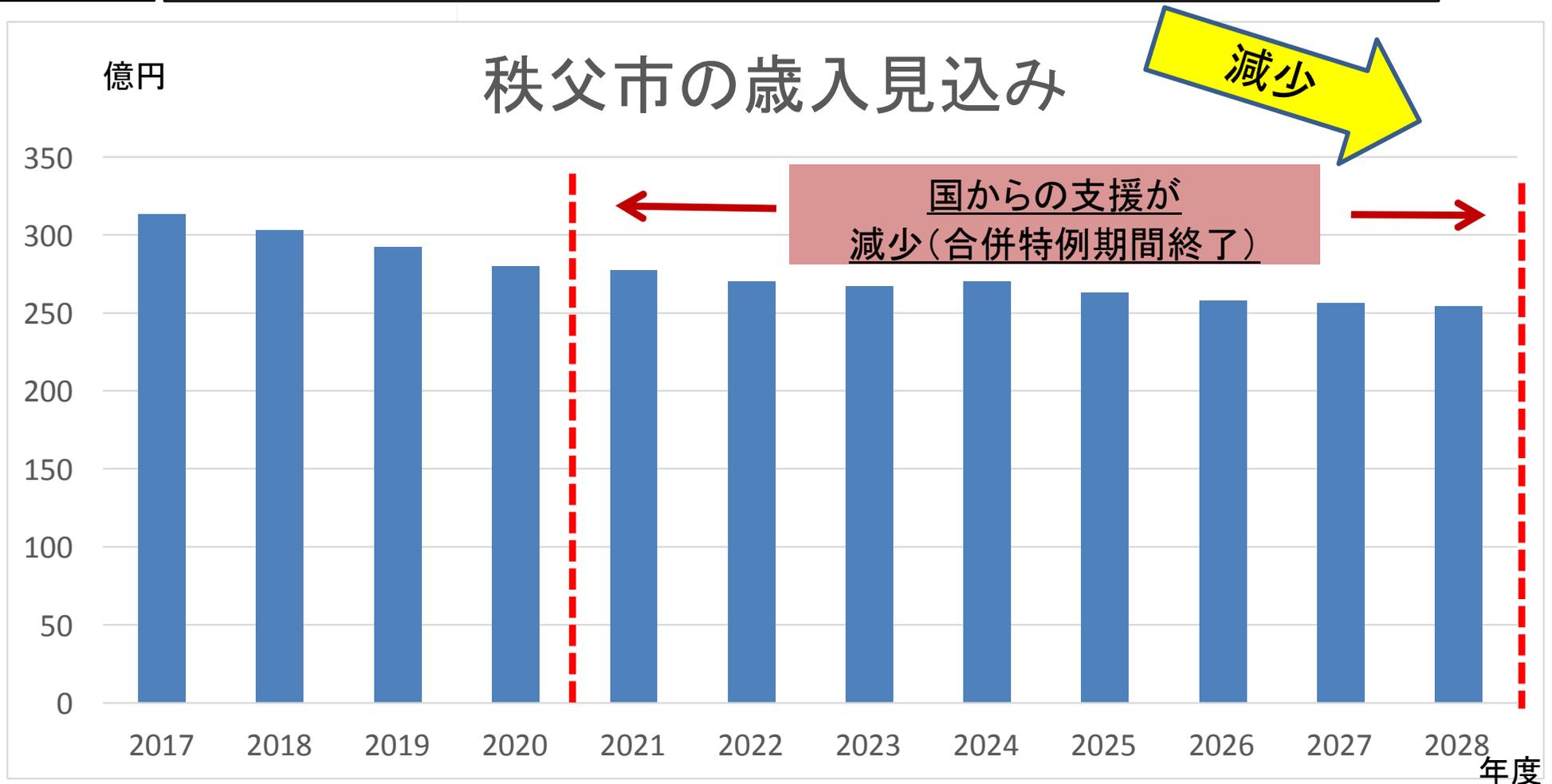


# 取組みの経緯 1

## 秩父市の財政状況

図表6

歳入は大幅に減少する見込みで、厳しい財政運営が求められている。

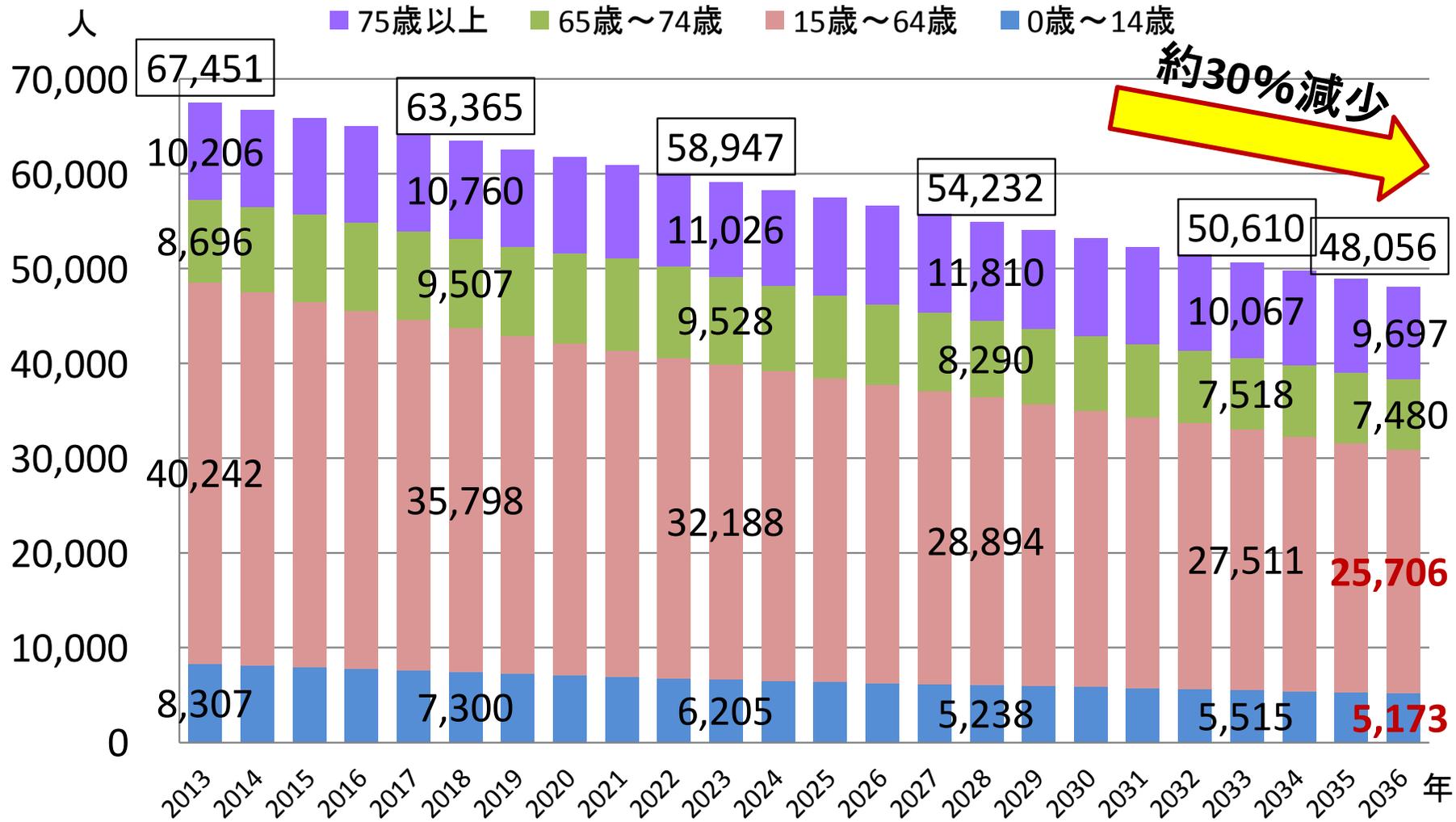




# 取組みの経緯 2 秩父市の将来推計人口

図表7

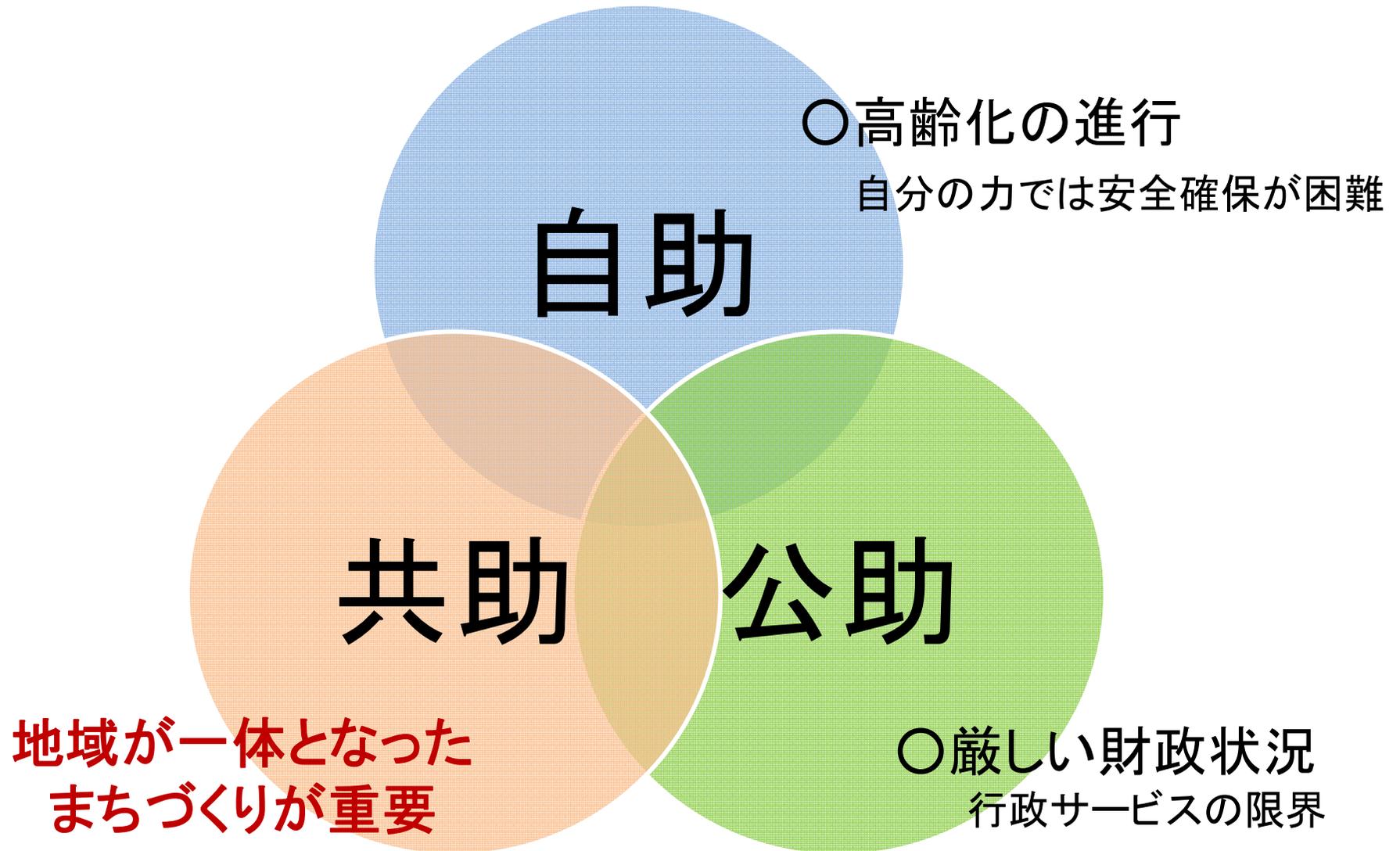
秩父市の人口は将来的にも減少し続ける見込み。  
20年後 ⇒ 若い世代は40%近く減少。高齢化率は約36%。



認証



# 取組みの経緯3



質の高い安心・安全なまちづくり



# 取組みの経過

年 月	内 容
2012年 5月	SC調査・研究に着手
2012年 9月	市議会において取組開始を宣言
2012年 11月	推進協議会を設置
2012年 11月	WHO協働センターに書簡伝達
2013年 8月	対策委員会を設置(7委員会)
2015年 5月	認証申請書を提出
2015年 7月	現地審査



2015年11月 セーフコミュニティ認証取得

# 認証取得後の歩み①（体制・周知）

2016.3 セーフコミュニティ推進条例の制定

2017.10 セーフコミュニティ国際会議セルビア大会参加

2018.11 アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会参加

2016～ 毎年 セーフコミュニティ記念イベント（活動報告会等）を開催



記念イベント（市民安全フォーラム）、事業報告会

# SC国際会議セルビア大会



# アジア地域SC会議厚木大会



# 認証取得後の歩み②（取組み）

- 2016年 取組みの充実と周知活動の強化  
安全・安心なまちづくりアンケート調査（認知度48%）
- 2017年 協働型（市民参加型）の取組み検討・開始  
協働①地区防災計画の策定（モデル地区）  
協働②町会の小型除雪機による除雪作業開始
- 2018年 各対策委員会委員の所属団体との連携強化  
協働③隣組長によるパトロール（SCトートバッグ配布）
- 2019年 安全・安心なまちづくりアンケート調査（認知度54%）  
協働④セーフドライブプロジェクト  
協働⑤目撃情報通報プロジェクト（犯罪・交通）  
協働⑥通報体制の強化（虐待・徘徊）

# 協働型取組み 開始

## ①逃げ地図(避難計画図)・地区防災計画

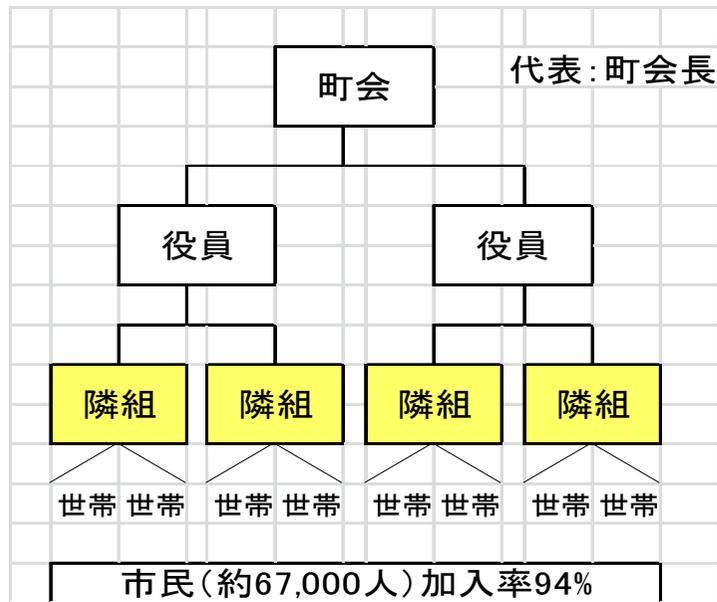


地域の災害対応

## ②町会 小型除雪機による除雪



## ③隣組長 パトロール

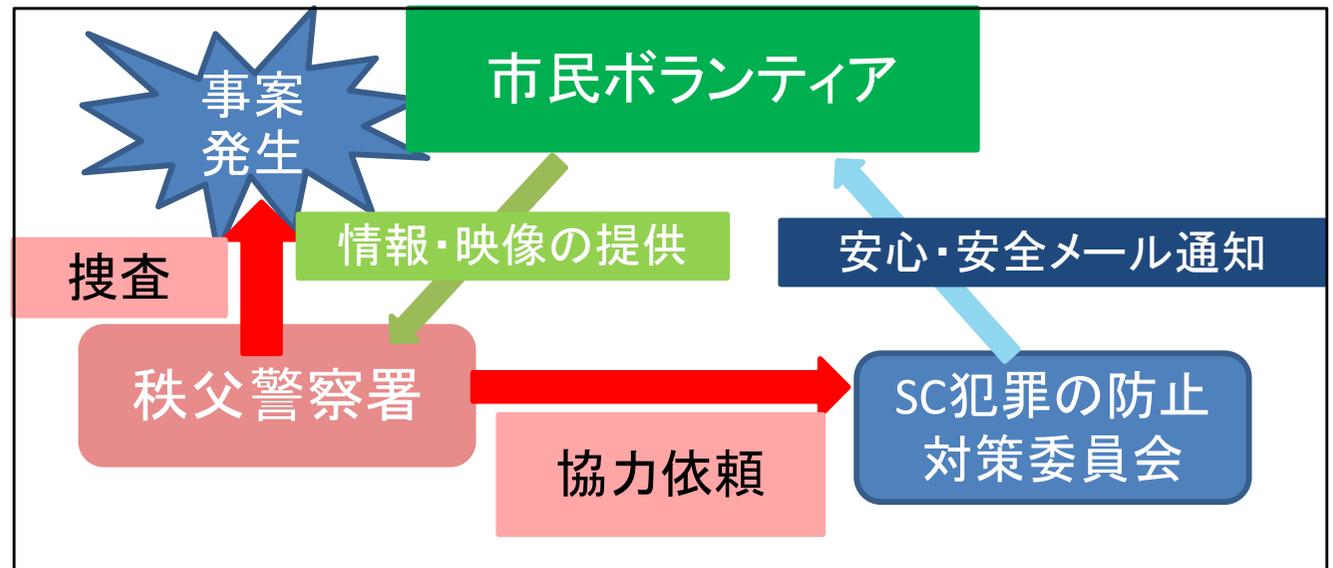
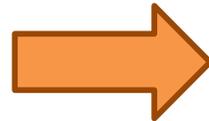


# 協働型取組み 今年度開始

## ④セーフドライブプロジェクト

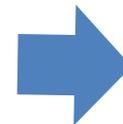
決められた速度や交通ルールを守り、安全走行（セーフティドライブ）に努める市民や企業を募集。優良ドライバーを増やし、交通事故「0」を目指す。

## ⑤目撃情報通報プロジェクト



## ⑥通報体制の強化（虐待・徘徊）

子どもの虐待、高齢者の虐待や徘徊を見かけた場合に、通報する。



関係機関  
へ連絡

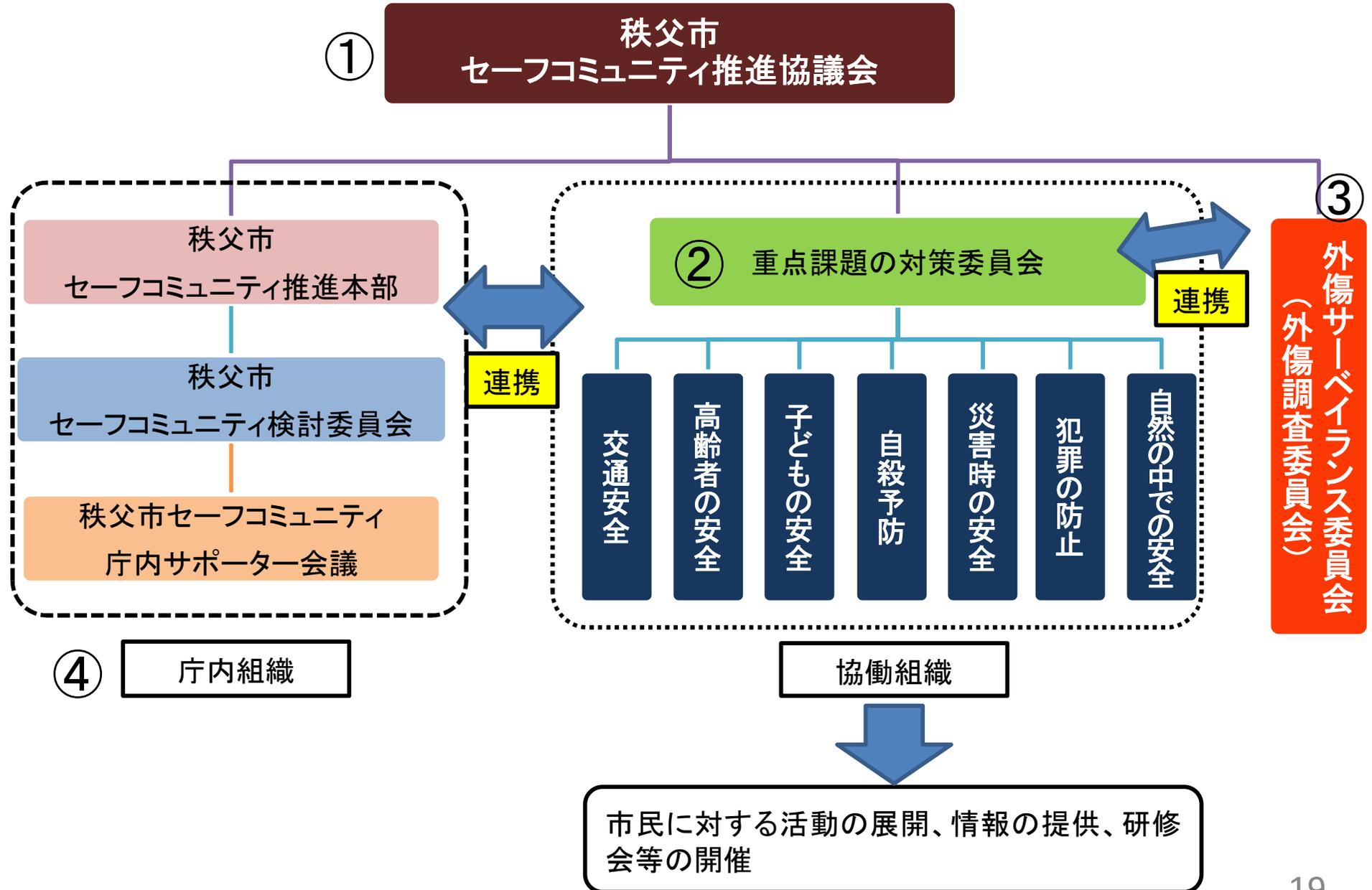
※見てみぬふりをしない

# 指標に基づいた取り組み

1. 分野横断的な協働・連携の仕組み
2. 全ての性別・年齢・環境・状況を網羅する、継続的な予防活動の実施
3. ハイリスクグループの集団や環境に焦点を当てた予防活動の実施
4. あらゆる入手可能な『根拠』に基づいた予防活動の実施
5. 外傷の発生頻度と原因を継続的に記録する仕組み
6. 予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組み
7. 国内外のセーフコミュニティネットワークへの継続的な参加



# 指標1 分野横断的な協働・連携の仕組み





# 指標1 分野横断的な協働・連携の仕組み②



① SC推進懇談会



② 対策委員会



④ 推進本部会議



④ 検討委員会



④ 庁内サボータ一会議